

# 霧が丘地区

霧が丘地区別計画推進策定委員会

## 地域 霧が丘1～6丁目

緑区の西方に位置し、南側は旭区に隣接しています。昭和54年から日本住宅公団（現在の霧が丘グリーンタウン）の入居が始まり、昭和56年に十日市場町から区域変更された比較的新しい街です。

街路樹、歩行者専用道路など（通称「赤道」）、計画的に整備されていることが特徴的で、緑豊かな公園が点在し、恵まれた自然環境は南側に隣接する新治市民の森に続いています。

平成20年に横浜市初の小学校跡の建物を活用した複合施設「霧の里」が開所し、住民の活動の場として定着してきています。

### <主な関連施設>

最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：霧が丘小学校（旧霧が丘第二小学校）、旧霧が丘第三小学校

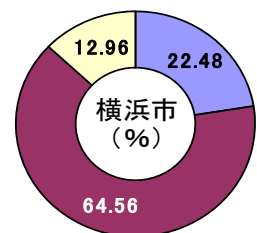
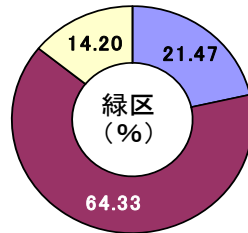
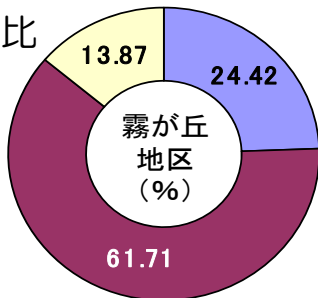
地域ケアプラザ等：横浜市霧が丘地域ケアプラザ

### <年齢区分別人口>

平成26年(2014年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)

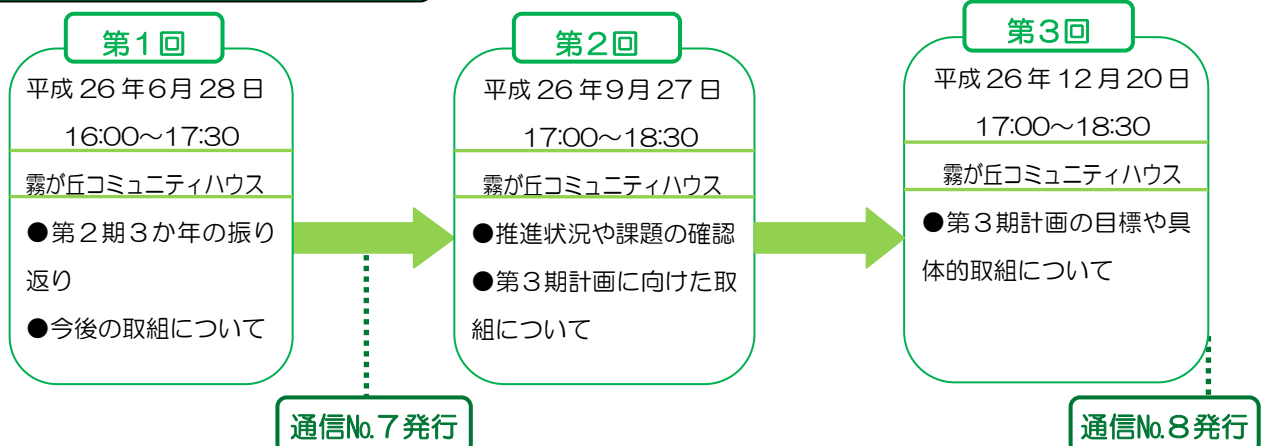


75歳～	940人
65～74歳	1,927人
15～64歳	7,245人
6～14歳	1,078人
0～5歳	550人
合計	11,740人

75歳～	16,899人
65～74歳	21,462人
15～64歳	114,942人
6～14歳	15,723人
0～5歳	9,654人
合計	178,680人

75歳～	381,069人
65～74歳	455,152人
15～64歳	2,401,961人
6～14歳	293,856人
0～5歳	188,228人
合計	3,720,266人

### 地区別計画推進策定委員会の開催



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成26年度地区別計画推進状況



# 霧が丘地区



防犯・防災・教育 **日本一**の街  
霧が丘 を目指します！

霧が丘地区では、「住みやすさ一番 緑区」を目指して、活動の輪を広げています。

## 平成26年度の主な取り組み

年2回（夏・冬）の宿泊訓練・総合防災訓練では、小型ポンプによる放水訓練なども取り入れ、実践的な取組を進めています。

地区の安全を向上させるための取組では、自治会や関係機関が連携して、定期的な防犯パトロールを実施しています。

そのほか、地域・学校・PTAが一体となって実施する街の美化活動推進や、保健活動推進員が中心となって毎月実施する「健康チェック」等の活動も積極的に行っています。



（写真：「総合防災訓練」の様子）

## 次期計画の策定に取り組んでいます！

平成28年度から始まる「みどりのわ・ささえ愛プラン」第3期計画の地区別計画策定に向けて、地区別計画推進策定委員会では、意見交換やアイデア出しを行ない、地域の課題解決を目指した次期計画の素案作成に取り組んでいます。



（写真：「第3回地区別計画推進策定委員会」の様子）

霧が丘地区別計画推進策定委員会は下記の各団体等の代表者で構成しています。

- 連合自治会 ●単位自治会 ●スポーツ推進委員会 ●青少年指導員会 ●民生委員児童委員協議会
- 主任児童委員 ●保健活動推進員会 ●霧が丘防犯事務局 ●霧が丘小学校防災拠点運営委員会 ※順不同



霧が丘地区では、様々な取組をこれからも継続し、再構築を行いながらより良いものに発展させていきます。

霧が丘地区別計画推進策定委員会





霧が丘地区別計画推進策定委員会  
平成26年7月発行 第7号

## 霧が丘地区別計画推進策定委員会通信

# 平成26年度第1回霧が丘地区別計画推進策定委員会を開催しました！

平成26年6月28日（土）16時から、「平成26年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画推進策定委員会」を霧の里で開催し、計画の推進と新たな計画の策定に向けた意見交換を行いました。

実際に取り組みを推進していく立場の委員の皆さまから、現状の活動状況についての情報提供や、今後に向けた課題提起など、様々な発言がありました。主なご意見をご紹介します。（⇒裏面へ続きます）



第1回霧が丘地区別計画推進策定委員会の様子



### 「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」とは

「みどりのわ・ささえ愛プラン」（第2期計画：平成23年度～27年度）は、誰もが安心して暮らし続けられる緑区を目指して策定された、社会福祉法に基づく計画です。本プランは「区計画」と、区内11地区の実情を踏まえて策定された「地区別計画」から構成されます。「霧が丘地区別計画」では、現在行われている取り組みについて、継続・発展させていくこととしています。

- 現在行われている取り組みを継続し、必要に応じて見直しを含めた再構築を行い、よりよいものに発展させていく。
- 広報「霧が丘」、「防犯・防災・環境ニュース」の発行等による情報発信を行い、地域の方々に霧が丘で行われている活動について周知するとともに、参加者や担い手の増加につなげていく。
- 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の周知を行い、プランと霧が丘の取組の関係について、情報を発信していく。

### 霧が丘地区別計画推進策定委員会とは

連合自治会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員などの25人のメンバーで構成されています。「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」（第2期計画）の推進や第3期計画の策定に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討等をおこなっていくための委員会です。

## 委員会での意見交換の内容(主な意見)

## 計画全体について

- ・霧が丘地区として実施できることを地道にやっていきたいと思えます。
- ・ここにいるメンバーでいろいろと計画して、よりよい地域づくりをしていきたいと考えています。



## 健康づくり

- ・毎月行っている「健康チェックの日」も7年目になりました。最近では若い人の利用も増えてきましたが、リピーターが多く、新しい人になかなか繋がらないのが課題です。今年度は、いつまでも自分の足で歩き続けるため、ロコモティブシンδροームをテーマにした取組を実施していく予定です。

## 防犯・防災

- ・今年に入って犯罪が増えています。広報を出したり色々声掛けをしていますが、なかなか減りません。
- ・10年前から防犯パトロールを行っていますが、次第に人手が不足してきました。防犯パトロールの価値を再認識するため、住民同士の支え合いを体験する機会ができればいいと思います。



## 高齢者

- ・高齢者が集まり仲間づくりができる地域のサロンのようなものを広めていきたいです。
- ・霧が丘地区は街ができてから35年になります。先に高齢化が進んでいる地区の課題から学んでいきたいです。

## 子育て

- ・子どもやその親に声掛けをしていきたいのですが、最近子どもが公園で遊んでいる姿を見かけず、声掛けができません。
- ・地域のお母さんから「皆はこの公園で遊んでいますか。」と聞かれることがあります。公園に行っても同年代の子と遊べないので、最近はサロンや地域子育て拠点、地域ケアプラザなどを活用していることが多いようです。

## 活動の担い手確保・情報共有

- ・乳幼児から大人まで参加できる行事を行い、地域活動を次世代へと繋いでいきたいです。
- ・40代、50代の参加者を増やすため、小学生と顔見知りになりその親に参加してもらうようにしています。
- ・どんなに情報を発信しても読んで貰えないと意味がないので、直接声を掛けるという姿勢を大切にしています。
- ・40代、50代で自治会活動に参加している人が少なく、活動の場に行っても知らない人ばかりなので、参加した時には温かい目で迎えてもらえると嬉しいです。
- ・近年外国人の住民も増えており、どうつながりを作るかが課題です。まずはこちらから挨拶をするようにしています。



今年度は、あと2回(9月と12月)委員会を開催する予定です。第2期計画推進と第3期計画(平成28年度~32年度)策定に向けた意見交換を行います。

<連絡先>霧が丘地区別計画推進策定委員会事務局 TEL:930-2307(緑区高齢・障害支援課長 杉本)





霧が丘地区別計画推進策定委員会  
平成27年2月発行 第8号

## 霧が丘地区別計画推進策定委員会通信

# 平成26年度第3回霧が丘地区別計画推進策定委員会を開催しました！

平成26年12月20日（土）17時から、「平成26年度第3回みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画推進策定委員会」を霧の里で開催しました。

区民アンケート（※）の結果を踏まえながら、第2期計画の取り組み状況を振り返るとともに、第3期計画の策定について意見交換を行いました。主なご意見をご紹介します。

※区民アンケートについては裏面をご覧ください。



第3回霧が丘地区別計画推進策定委員会の様子

### 霧が丘地区別計画推進策定委員会とは

連合自治会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員などの25人のメンバーで構成されています。「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」（第2期計画）の推進や第3期計画の策定に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討等をおこなっていくための委員会です。

### 26年度の取り組みについて(振り返り)

#### ●安全・安心・健康

- ・霧が丘地区で水や備蓄をしている人が多いのは、住民の意識が高いということだと思います。こんにちは赤ちゃん訪問をした時には、防災マップを渡し、おむつなどの生活必需品も避難袋に入れて玄関に用意するよう伝えています。
- ・日頃から防犯活動を積極的に行っていることが、アンケートの数字によく表れていると思います。
- ・健康チェックを毎月行っているため、保健活動推進員の認知度も高くなっており嬉しく思います。引き続き取り組みを進めていきたいです。

#### ●情報共有・活動の担い手

- ・地域ケアプラザや自治会役員、民生委員の認知度が高いのは、普段の活動がよく知られているということだと思います。
- ・高齢化していく中では、紙媒体の情報提供が必要だと思います。
- ・隣近所で困っている方の手助けや見守りを現在やっているという人と将来できそうだという人の数に差がありますが、その差を無くしていくことが支え合いや行事の継続に繋がっていくのだと思います。



### 第3期計画の策定について

#### ●安全・安心・健康

- ・防犯パトロールは地域からも必要とされているので、活動に張り合いが出ます。引き続き積極的に取り組んでいきたいと思えます。
- ・自治会や地区社協、防犯パトロールの実施団体等、地域の関係者が協力しながら、地域の見守り活動を強化していきたいです。
- ・毎月1回健康チェックを行っています、引き続き取り組んでいきたいです。

#### ●情報共有・活動の担い手

- ・区民アンケートの中で、隣近所で困っている方の手助けや見守りを、現在は行っていないが将来はできそうだと回答した人たちをどうやって取り込んでいくかが課題だと思います。工夫が必要です。
- ・賃貸のアパートやマンションの入居者に自治会入ってもらいたいが、個人情報の問題もあり、アプローチが難しいです。
- ・近年外国人住民が増えています。少しずつ相互理解を進めていきたいです。
- ・子どもの数は少なくないのに、区民アンケートの中では子育て情報を知りたいと思う人が少ないです。発信する情報の内容、方法を考えなければいけないと思います。

### 区民アンケートの速報値ができました！（抜粋）

#### 【アンケート概要】

- 調査機関 平成26年8月21日～9月8日
- 調査対象 20歳以上の緑区民 4,500人
- 調査方法 郵送によるアンケートの配布・回収
- 有効回答 1,301通（うち霧が丘地区 103通）

#### ●地域での助け合いに参加した経験（無回答以外）

ある：64.1% ない：35.0% （緑区平均 ある：44.3% ない：53.3%）

#### ●現在行っているボランティア活動（抜粋）

①防犯パトロール：13.6% ②安否確認の声掛け：9.7% ③話し相手・相談相手：5.8%  
（緑区平均 ①：5.6% ②：6.5% ③：6.2%）

#### ●将来（頼まれたら）できそうなボランティア活動（抜粋）

①安否確認の声掛け：52.4% ②防犯パトロール：35.0% ③登下校時の見守り：26.2%  
（緑区平均 ①：50.3% ②：29.0% ③：24.6%）



地域での助け合いに参加した経験のある方が6割を超えており、緑区の平均を大幅に上回っています。ボランティア活動では、防犯パトロールに参加している方、参加できそうな方が多いのが、霧が丘地区の特徴です。

来年度も第2期計画における取り組みを継続・発展させていきます。また、第2期計画での取り組み内容を振り返り、課題を整理しながら、第3期計画策定に向けた意見交換を行っていきます。



〈連絡先〉霧が丘地区別計画推進策定委員会事務局 TEL：930-2307（緑区高齢・障害支援課長 杉本）